

小算 5 年	速さ	組	氏名
No.10		番	

① 次の速さ，道のり，時間を求めましょう。

① 150 kmの道のりを3時間で進む自動車の時速 (km)
 (式) 答え 時速 km

② 時速60 kmの自動車が2時間で進む道のり (km)
 (式) 答え km

③ 時速80 kmのバスが720 kmの道のりを進む時間 (時間)
 (式) 答え 時間

② 次の速さ，道のり，時間を求めましょう。

① 8.5 kmの道のりを2.5時間で歩く人の時速 (km)
 (式) 答え 時速 km

② 分速0.2 kmで走る人が4.5分間で進む距離 (km)
 (式) 答え km

③ 時速50 kmの自動車が20 kmの道のりを進む時間 (分)
 (式) 答え 分

③ はるおさんは分速300 mで，なつこさんは秒速7 mで走ります。
 どちらが速いですか。
 (式)

答え

④ 秒速180 mで進むリニアモーターカーがあります。
 270 km進むのに，何分かかりますか。
 (式)

答え 分

解説

小算 5 年	速さ	組	氏名
No.10		番	

① 次の速さ、道のり、時間を求めましょう。

- ① 150 kmの道のりを3時間で進む自動車の時速 (km)
 (式) $150 \div 3 = 50$ 答え 時速 km
速さ=道のり÷時間 (教5P222)
- ② 時速60 kmの自動車が2時間で進む道のり (km)
 (式) $60 \times 2 = 120$ 答え km
道のり=速さ×時間 (教5P223)
- ③ 時速80 kmのバスが720 kmの道のりを進む時間 (時間)
 (式) $720 \div 80 = 9$ 答え 時間
時間=道のり÷速さ (教5P224)

② 次の速さ、道のり、時間を求めましょう。

- ① 8.5 kmの道のりを2.5時間で歩く人の時速 (km)
 (式) $8.5 \div 2.5 = 3.4$ 答え 時速 km
小数の場合も、①の①と同様に速さ=道のり÷時間で考えます。
- ② 分速0.2 kmで走る人が4.5分間で進む距離 (km)
 (式) $0.2 \times 4.5 = 0.9$ 答え km
小数の場合も、①の②と同様に道のり=速さ×時間で考えます。
- ③ 時速50 kmの自動車が20 kmの道のりを進む時間 (分)
 (式) (例) $20 \div 50 = 0.4$ 0.4の単位は時間です。
 $60 \times 0.4 = 24$ $20 \div 50 = 0.4$ (時間) です。 答え 分

1時間は60分です。時間を分になおすためには、たとえば2時間を分になおすのであれば、 60×2 を計算します。同じように0.4時間を分になおすには、 60×0.4 を計算します。(教5P225)

③ はるおさんは分速300 mで、なつこさんは秒速7 mで走ります。どちらが速いですか。

(式)

(秒速を分速にそろえる方法)
 秒速7 mを分速で表すと、
 $7 \times 60 = 420$
 分速420 m

(分速を秒速にそろえる方法)
 分速300 mを秒速で表すと、
 $300 \div 60 = 5$
 秒速5 m

分速と秒速では比べられません。そこで、秒速か分速に単位をそろえて比べます。(教5P225)

答え

秒速を分速にそろえるために60をかけます。

分速を秒速にそろえるために60でわります。

④ 秒速120 mで進むリニアモーターカーがあります。324 km進むのに、何分かかりますか。
 (式)

(kmをmにそろえる方法)
 $324000 \div 120 = 2700$
 $2700 \div 60 = 45$

(秒速を分速にそろえる方法)
 $120 \times 60 = 7200$
 $7200 \div 1000 = 7.2$
 $324 \div 7.2 = 45$ 答え 分

秒速120m=分速7200m=分速7.2 kmとして、単位を分速○kmにそろえてから、「時間=道のり÷速さ」の公式にあてはめます。(教5P225)

324 km=324000mとして、単位をmにそろえてから、「時間=道のり÷速さ」の公式にあてはめます。1分は60秒だから、秒を分になおすために、60でわります。(教5P225)